

窓口支援事例 【高知県 知財総合支援窓口】

企業情報

サンワトレーディング株式会社

所在地	高知県高知市		
ホームページ URL	http://www.fruit-eco-polisher.com/product03.html		
設立年	2008年	業種	製造業
従業員数	3人	資本金	100万円

企業概要

当社は、漁労装置を手掛ける室戸市の鉄工所で長年ものづくりの経験を重ねた技術者が2008年に設立した会社です。顧客、取引先に対し価値ある物品、サービスを提供し相互に利益を得られるビジネスモデルを構築、実行すること、また、全てのステークホルダーと相互にリスペクトできる関係を構築することを経営理念とし、地元企業のニーズに合わせた商品の開発製造を行っています。



自社の強み

当社は、独創的な技術、サービスの発掘、開発を行い、ビジネスとして立ち上げていることが当社の強みです。高知県は暖かい黒潮海流と海からの照り返しがあることで温暖な気候であること、また、山々があることで北からの寒気をさえぎり、平野部では冬でも暖かく雨が少ない地域であることから、果物、野菜ともに品質優れた作物が栽培できる地域です。しかし、いまだ農業分野においては手で作業しなくてはいけない部分が多く、高齢化していく農家を楽にしてあげたいという気持ちから、各農家単体でも購入ができるような安価な作業補助装置を提供したいと考え、長年の技術者としての経験を生かし開発製造及び販売を行っています。

一押し商品

当社は、土佐市のショウガ農家から「圧縮固結された牧草を苗の保護などに使用するのだが、1袋約20キロと重く、手作業でほぐすにはかなりの時間がかかるため、圧縮固結された牧草をばらばらにする機械がほしい」と要望されたことがきっかけに、『ほぐす君』の開発を始めました。試行錯誤を重ね、上部投入口に圧縮固結された牧草の束を入れると、らせん状に配置された刃が付いたローラーが回転し、束をほぐし、ほぐされた牧草が下部排出口に落ちていくという単純な構成でありながら十分な機能性を有する装置を開発しました。本体は安価に設定でき、稼働効率は1袋1分弱と手作業の約20倍で、手作業より仕上がりが均一とお客様から喜ばれています。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、長年鉄工所で技術者をしていた経験から知財に関して意識も高く、設立当時に開発した柑橘類磨き機などは販売前に知財での権利化をしっかりと行なっておりました。磨き機を販売した顧客からの要望でこの磨き機の改良を行った際、改良部の知財保護について検討したいと思っていたところ中小企業が気軽に相談できる窓口があると知り窓口を利用されたことがきっかけとなりました。

最初の相談概要

相談時には既に、柑橘類磨き機としては出願を行っており、公開されている状況であったため、改良部分に進歩性があるかの検討を支援しました。さらに、柑橘類以外での利用の可能性（例えば、トマトなど）など同装置を利用した他分野への利用などの検討を支援しました。

その後の相談概要

その後、新たに開発する商品についての先願の検索手法の助言、先願調査の結果に基づく侵害の有無の判断方法についての説明、さらには、どのような権利化が有効となるかの検討など知財戦略の重要性や戦略を考えるまでのポイントの解説などを支援しました。一押し商品である『ほぐす君』についても、支援の結果、特許出願1件を行っています。

窓口を活用して変わったところ

既存の商品の改良部の権利化についての検討の支援を行った後も、新商品開発時に窓口を利用していくことによって自社商品の開発における一連の知的財産に係る支援等を通じて、知的財産に対する知財マインドの向上が図られ、さらなる知的財産への関心が高まり、知的財産権活用への積極的な取組姿勢が育まれたと感じています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

窓口利用のきっかけは既に権利化を行っていた商品の改良部の権利化についてでしたが、その後も窓口活用したことで、新たに商品を開発する際の先願調査の重要性、戦略的な知財活用方法等色々と学ぶことができました。一押し商品の『ほぐす君』に関する知財支援は販売戦略にも効いており注文数も本年に入り生産が追い付かないほどになりました。今後も積極的に窓口を活用したいと思います。

窓口担当者から一言 (氏名: 富山 佳子)



公知技術の改良に関する権利化の相談をきっかけに、新たに開発する商品においても相談いただくようになりました。開発における調査の重要性、戦略的知財活動などを支援することができ大変良かったと感じております。一押し商品の『ほぐす君』の特許はまだ出願中であり、今後何か新たな課題が出れば窓口を活用いただきたいと思います。